

平和運動フォーラム石狩地協通信

平和運動フォーラム
石狩地域協議会

〒060-0806
札幌市北区北6西7

村上 真仁

TEL:011-747-1880

各地域フォーラムと連携し、

組織・運動の強化をめざす

第13回
定期総会

石狩地域協議会は11月30日、今年度の定期総会を北広島市芸術文化ホールにて開催、今期の運動を総括するとともに、新たな年度に向けて、活動の方針を全体で確認した。

総会冒頭に山口 歩 代表幹事は「今も収束されていない福島原発事故、沖縄オス



総会は全体で次年度の役員体制、運動方針を確立し、団結ガンバローで締めくくられた。＝北広島市芸術文化ホール

ブレイや米兵犯罪、改憲など右傾化の流れなど、平和な社会を目指す我々にとって重大な課題に直面した一年であった」と挨拶、今年度情勢を振り返った。その後、北海道平和運動フォーラム長田事務局長、社民党札幌支部連合諸岡代表より、事務局長より今年度の活動報告が行われた。

今年度は、基地や自衛隊への対応が多くあり、特にオスブレイの問題が顕著であったこと、憲法を守る取り組みや全国的な『脱原発』の気運の

沖縄と福島 憲法の『番外地』

12月8日、札幌市自治労会館で「武力で平和はつけない！12・8北海道集会」が開催され、約200名が参加した。この集会は、1941



東京大学大学院 高橋 哲哉教授

年12月8日の太平洋戦争開始日を振り返

り、二度と悲惨な歴史を繰り返さないことをスローガンに掲げ、1994年から毎年開催されている。冒頭、主催者を代表し、北海道平和運動フォーラムの中村代表が「『戦争する国』にしようとする動き

高まりにより、各種集会等へ積極的に参加体制をとってきたことなどが報告された。一方、次年度活動方針では、規約に定めた6つの方針を基本に、道フォーラ

平和への願い みんなに届け！

石狩地域協議会は、原水禁世界大会（広島大会）に毎年、会員を派遣しているが、今年度は自治労石狩ブロック協議会より、渡辺 聡さん・優里さんが参加した。



発表する渡辺 優里さん

ムや各地域との連携を強化することが提起され、石狩地協の組織活性も引き続き課題として取り組むことが全体で確認された。また、執行部への意見として、重

11月30日の石狩地協定期総会の経過報告で発表した優里さんは、原爆が落とされた当時の話を聞き「平和の大切さ、戦争の怖さ、原子力が危険でどれほど恐ろしいものか教えてもらった。福島の事故も、広島が経験した戦争と同じで、自分たちの住めなくなった人たちのことを考

の阻止」を訴え挨拶した後、東京大学大学院高橋教授が「犠牲のシステムを超えて、福島、沖縄、そして憲法」と題して講演を行い「沖縄の米軍基地と福島の原発事故は、一方が日米安保体制で他方が

原発という戦後憲法下で本来あってはならない『犠牲のシステム』のもとで強いられた犠牲である。沖縄と福島は憲法の番外地に置かれている。このような中で改憲を許すことはできない。」と述べた。

要な局面での政治政策への対応の取り組みが要請された。その後、新役員が選出され、承認された後、最後に山口代表幹事の団結ガンバローで総会を締めくくった。

えると、人が犯した間違いだと思う」と参加報告を行い、最後に「平和で戦争のない世界が一番、そして原子力に頼らず、使わないことを選びたい。そのためにできることを考えていきたい。この思いを学校でも多くの人に発信できれば良いと思う」と力強く語った。石狩地協では引き続き学習を深めるために会員を派遣する方針。

○事務局だより○

「原子力に頼らず、使わないことを選びたい。そのためにできることを考えていきたい。」広島大会参加報告での渡辺さんの言葉が強く心に響きました。大人の我々がもっとしっかりしなければと思います。(む)